

兵庫県

加西市



面積: 150.22 km²

人口: 44,561人 (平成30年11月1日現在)

市の木: カシ / 市の花: サルビア



ピースツーリズム



1943年10月に開墾した姫路海軍航空隊の飛行場だった鶏野飛行場跡。未だに周りには防空壕や爆弾庫、機銃座跡が点在し、当時の面影を色濃く残しています。

グリーンツーリズム



都市と農村の架け橋として、NPO法人原始人の会では、田舎暮らし体験ができます。築100年超の古民家を再生した「大谷山荘」に宿泊し、ぼたん鍋を食べながら、安心の野菜づくりや地域との交流を楽しめます。

【市の概要】

花と緑と歴史のまち、加西市は兵庫県の南部、播州平野のほぼ中央に位置します。気候は、瀬戸内式に属し、冬期の降水量が少なく、温暖で暮らしやすいところです。大阪や神戸からは、高速道路を利用すると1時間程度でお越しただけ、未来の田舎「ミライナカ」づくりをめざしています。

自然豊かな美しい景観に恵まれ、広大な自然林を生かした県立フラワーセンターは、全国でも有数の花の公園として知られています。また、国より払い下げのあった鶏野飛行場跡地、日本最古の地誌「播磨国風土記」や赤穂義士ゆかりの地として、様々な地域資源を活用することで、独自の魅力や価値を高め、加西市だからこその取り組みを進めています。

【兵庫県 加西市】



兵庫県立フラワーセンター

約46haにおよぶ大規模な花の公園です。池を巡る遊歩道を歩けば、季節の花が咲き競う大花壇、南国ムードあふれる大温室、花と彫刻の道など、約4,500種類の花々が輝きます。また園内に2017年、兵庫県立考古博物館分館として、古代鏡展示館がオープンしました。



ごひゃくらかん 五百羅漢

古くから「親が見たけりや北条の西の五百羅漢の堂に御座れ」とうたわれ、素朴で表情豊かなその姿は必ず親や子に似た顔があるといわれています。秋には園内の羅漢ともみじがライトアップされ、紅葉の名所となっています。兵庫県指定文化財。



北条鉄道

兵庫県小野市の粟生駅から、加西市の北条町駅を結ぶかわいいうちローカル線です。田園風景をのどかに走るその姿は、都会の喧騒を逃れ、ゆったりとした時間を楽しむのにぴったり。市内に7つの駅があり、各駅にボランティア駅長がおり、様々な取り組みをしています。



法華山一乗寺

白雉元年(650年)法道仙人開基の天台宗の名刹で、西国33ヵ所巡礼第26番札所です。御詠歌にも「春は花、夏は橘、秋は菊、いつも妙なる法の華山」とあります。兵庫県下で最古の塔である国宝三重塔があり、季節によって様々な顔を魅せてくれます。